



《校訓》 感動 夢 一人一人が輝け 大中

努力 友情 勉学 大始良の風

所在地：鹿屋市田淵町987番地  
TEL：0994(48)3125  
FAX：0994(48)2564

## PTA総会で学校・保護者の連携を再確認！

5月2日(水)、平成30年度PTA総会が開催され、新役員や実践目標及び活動計画、予算等が承認されました。新会長の本田正吾さんは、「子どもたちのためにPTAとして何ができるか、これまでの経験を生かして自分なりに頑張りたい。」と抱負を述べられました。また、前会長の福永浩文さん、副会長の上大蘭知子さん、平山江里子さん、田場真一郎さんへ感謝状が贈られました。これまでのご尽力に感謝いたします。

平成30年度は本田会長をリーダーに、学校・生徒・保護者・地域がチームを組み、知恵を出し合っ

て生徒一人一人が輝ける学校を目指します。



会 長	本田 正吾		
副 会 長	川村 修 (総務部担当)	総 務 部	福留 昭洋 平原 博樹
副 部 長	大塚千穂弥 (研修部担当)	研 修 部	飯田 恵子 上船 知子
副 会 長	木之下宗成 (保体部担当)	保健体育部	木下 純子 鎌田 潤
副 会 長	竹井 俊一 (生指部担当)	生徒指導部	宮田ふじみ 出口 容子
副 会 長	永瀆 智美 (市P連実行委)	読書推進部	山下 美春 向井 るみ
副 会 長	藤原 隆哉 (中学校教頭)	1年学級委員	西川真由美 上園 純子
書記会計	米満 瞳 (学校事務職員)	2年委員委員	中島 恵 赤瀬川美沙枝
会計監査	上園さおり, 宮田 純子 原口めぐみ	3年学級委員	持増葉宇子 湊 ひとみ
		地 区 委 員	獅 子 目 隈原 直樹
		(生活指導委員)	大始良西 瀬筒 典之
			大始良東 清水 洋平
			田 淵 小原 亮治
			横 山 廣森 幸一
			下 堀 池口 宏幸
			萩 塚 河野 博文
			飯 隈 山下 美春
			池 園 竹下 小織
			南 川田さおり
	浜 田 柿内由美子		

←【授業参観の様子】

昨年度に引き続き、校訓及び学校教育目標を具現化し、目指す生徒像を達成するために、学校と家庭で連携して取り組む共通実践事項を設定し、課題の解決を図ります。ご協力お願いいたします。

### 平成30年度 学校教育目標の具現化を目指す共通実践事項

【学校教育目標】ふるさとを愛し、心身ともに健康で、知性と創造性に富む、心豊かでたくましい生徒の育成

《 勉 学 》		《 友 情 》		《 努 力 》	
学	1 授業の心得7か条の指導の徹底	学	1 縦割り無言清掃で集団力向上	学	1 語先後礼・立ち止まってあいさつ
	2 大始良スタイルの授業実践		2 アンケートや相談活動でいじめ防止		2 朝ラン・部活動で体力向上
校	3 YDO週間等で考える力を育成	校	3 エンカウンターで自己有用感を醸成	校	3 朝読書・読み聞かせ・ブックトーク
家	4 家庭学習90分の習慣化	家	4 学級通信や学校便りは必ず確認	家	4 早寝・早起き・朝ご飯の習慣化
庭	5 ケータイ・ゲーム9時オフ	庭	5 授業参観・PTA行事に積極的に参加	庭	5 虫歯・目の疾病の早期治療

## 持続可能な部活動改善へご理解を！

スポーツ庁は、「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」を平成30年3月に策定し、都道府県及び学校の設置者、校長に対して「学校の運動部活動に係る活動方針」を速やかに策定するよう通知しました。また、県教委は、「学校における業務改善対策」のひとつ【部活動の休養日（週2回：平日1日、土日のうち1日）の実施など】等、先行的に実施可能な取組は速やかに実施するよう求めています。

このような状況を踏まえて、大始良中学校では6月までを準備期間として、県教委や市教委等の動向、新チームに切り替わるタイミング等を見極めながら、部活動本来の主旨を生かした持続可能な部活動となるよう改善していく予定です。保護者や地域の皆様のご理解をお願いいたします。

【平成30年4月末現在の部活動への入部状況】

部活動名	1年	2年	3年	部員数	部活動名	1年	2年	3年	部員数
野球	13	3	4	20	女子テニス	3	6	12	21
サッカー	5	7	2	14	女子バスケ	7	2	7	16
男子バレー	2	5	7	14	美術	4	4	5	13
女子バレー	0	4	0	4	ジャズバンド	10	4	3	17
男子テニス	4	4	11	19					

《入部率71.5%》

## 「備えあれば憂い無し」地震想定避難訓練

4月は命に係る学校行事を設定し、4月11日（水）に「交通安全教室と自転車安全点検」、12日（木）は「地震を想定した避難訓練」を実施しました。

避難訓練では、自衛隊勤務時に東日本大震災後の救助活動に従事した山田先生がその体験談を交えて生徒に指導講話をしました。行方不明者の捜索活動や発見時の親族の様子等、当時の緊迫した状況が伝わってきました。また、その教訓を生かして「非常持ち出し袋」を準備し定期的に点検することで、非常時の心構えや行動について再確認しているということでした。教員として過信や慣れから判断を誤ることが無いよう改めて気を引き締めさせられた訓練になりました。



## 栄光を讃える

◇肝属地区女子バレー交流大会  
【第3位】

## 5月行事

- 9日（水） 3年第1回実力テスト ~10日
- 12日（土） 土曜授業日
- 17日（木） 地区中体連陸上大会
- 21日（月） 1年集団宿泊学習 ~22日
- 22日（火） 2年修学旅行 ~24日
- 3年職場体験学習 ~23日
- 23日（水） 1年休養措置日
- 24日（木） 3年高校説明会 ~25日
- 25日（金） 2年休養措置日

## 子育ての連携を

家庭訪問の主な目的は次の3つ。  
一つは、生徒理解。  
二つは、保護者理解と連携づくり。  
三つは、地域理解と通学路点検。

子どもの成長を促すためには、適度な貧しさや不自由さを与え、こどが大切だと言われています。しかし、時期を急がせると苦痛を与え、遅らせると伸びしろを小さくしてしまいます。今、子どもにどんなタイミングで、どんな言葉を投げかけ、どんなことをさせれば、子どもの成長にびったり合った成長刺激を与えられることができるのでしょうか。いつも親は考えています。教師は毎日探っています。家庭と学校が連携しなればならない理由がここにあります。4月の家庭訪問をきっかけに教師と親の子育ての連携がスタートしました。気になることはお気軽に、そして早めにご相談ください。即対応いたします。

言葉でどんなに教えても、本棚にあるすべての本を読ませても、若者にどうあるべきかを教えることはできません。教えるものが身をもって示すことでこそ、それは可能になる。

ジョン・ウドゥン

私は「きちんと畳みなさい」と言うのではなく、「裾を持ちなさい」と言える教師でありたいと思っています。じつくりと目をかけ、声をかけ、手をかけることが大切なのです。

大村はま